

フレッシューズゼミB(柔道整復師コース)	演習	教授 川崎 一郎 講師 佐藤 康宏
科目カテゴリー	柔道整復師コースの必修科目	科目ナンバリング 12130102

1. テーマ

- ①国家試験に向けた基礎学力の充実
- ②プレゼンテーションの準備と発表の実践

2. ゼミのねらい・概要

大学の授業は、学生各自が興味のある科目を選んで履修することが多くなるが、その中で1年次の必修科目であるフレッシューズゼミは、ホームルームにあたるものとして位置づけることができる。この授業では、柔道整復師コースの学生を対象に、将来の資格取得に向けた基礎的な学習指導およびキャリア指導等を実施し、初年度の大学生活全般をサポートする。後期は引き続いて基礎学力の充実のための「確認テスト」を実施しながら、学生自身が課題を見つけて調査し、その内容を発表する「プレゼンテーション講座」も実施する。また、担当する教員はクラス担任としてゼミを運営し、定期的に学生への個別面談も行う。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス 履修指導と確認	8. プレゼンテーション講座④(口頭発表)
2. プレゼンテーション講座①(課題の決定, 資料準備)	9. プレゼンテーション講座⑤(口頭発表)
3. プレゼンテーション講座②(スライドの作成)	10. プレゼンテーション講座⑥(口頭発表)
4. プレゼンテーション講座③(レジュメの作成)	11. 確認テスト④(解剖学: 泌尿器・生殖器系)
5. 確認テスト①(解剖学: 消化器系)	12. 確認テスト⑤(生理学: 尿の生成と排泄, 生殖)
6. 確認テスト②(生理学: 消化と吸収)	13. 確認テスト⑥(柔道整復学: 骨折の治療法など)
7. 確認テスト③(柔道整復学: 小児・高齢者骨折など)	14. 総まとめ
	15. 個別面談

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

プレゼンテーション講座における発表スライドおよびレジュメについては事前に作成したものを提出すること。また、確認テストについてはテキストの指定範囲の予習を行った上でテストに臨むこと(各1時間程度)。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

口頭発表については個々の発表内容に対して講評を行う。また、確認テストについては口頭での正答の発表と解説を実施する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本授業では、発表課題を検討し、口頭発表に必要なスライドやレジュメを作成する能力の習得を目標とする。加えて、国家試験で出題される主要科目(解剖学, 生理学, 柔道整復学)に関する基礎学力の充実も目指す。

7. 成績評価の方法・基準

発表課題に関する口頭発表(約20%程度), 作成したレジュメ(約20%程度), 総合テスト(解剖・生理・柔理)の結果(約60%程度)の3項目より総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

野村巖 監修, 西川彰/小林直行 著, 『解剖学ワークブック』, 医歯薬出版, 2014年
目崎登 監修, 西川彰/小林直行 著, 『生理学ワークブック』, 医歯薬出版, 2012年
目崎登 監修, 小林直行 編, 『運動器疾患ワークブック』, 医歯薬出版, 2012年
その他の参考資料は, 必要に応じて授業中に紹介または配布する。

9. 受講上の留意事項

毎回の授業時にはテキストおよび配布資料を必ず持参すること。
講義回数の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、接骨院での臨床経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。